

外縁付鈕2式 横型流水文 外2横流3姉妹

「外縁付鈕2式」 横型流水文 外2横流3姉妹

- 徳島県 (伝) 吉野川沿岸 吉野川鐸
- 香川県 観音寺市古川町 (南下) 観音寺鐸
- 鳥取県 鳥取市越路 (丸山) 越路鐸

- ☆徳島県 (伝) 吉野川沿岸 吉野川鐸 高さ 42cm
外縁付鈕2式 横型流水文 2区画三対耳 天理大学附属天理参考館蔵
- ☆香川県 観音寺市古川町 (南下) 観音寺鐸 高さ 45.8cm
外縁付鈕2式 横型流水文 2区画三対耳 東京国立博物館蔵
- ☆鳥取県 鳥取市越路 (丸山) 越路鐸 高さ 44.5cm
外縁付鈕2式 横型流水文 2区画三対耳 鳥取県立博物館蔵

A面



観察想像スケッチ

個人的には、3兄弟じゃなくて、3姉妹とする
鈕部分の紋様の特異
知っていれば、この鈕文様を見ただけで おお三姉妹となる
では、身の部分から
3対耳 B3タイプ 脚付3対耳2区画の流水文
区画を別ける横帯部分は斜格子文
流水文の横帯で見るのは珍しい
2区画ともに 8c7x 流水文基本形
身の部分で特徴的なのが下辺横帯の下界線が4条

そして問題の 鈕の紋様 通常 鱗の延長にある鈕の部分は
鋸歯文そして内側に綾杉文とで構成されるているものが多い
しかし この姉妹達は驚きの構成となっている

A面鈕部外側から内側へ

- 1列目 環状文(双頭渦文みたいな)
- 2列目 連続渦文S(繋ぎ線が下から上へ)
- 3列目 環状文と連続渦文と中央に4頭渦文
この4頭渦文は菱環内側へと伸びている

B面



B面鈕部分は外から内へ3列
連続渦文Z（繋ぎ線が上から下へ）
環状文（双頭渦文みたいな）
連続渦文S

多くの銅鐸たちは
鋸歯文・綾杉文で構成されている鈕の紋様が
渦文・環状文で構成されているのです 吃驚仰天

連続渦文が鈕に施されている銅鐸は袈裟襷文でもありますが
文様が渦文・環状文のみというのは この3姉妹しかいないでしょう

ここで使われている 通称 環状文（双頭渦文みたいな）なのですが
普通の形とは ちょっと違う 双頭渦文の変形形なのでしょうか
渦文とは呼べない状態です
普通 渦文は単線で描かれ 両端が渦になっているのですが これは なんか違う
両端が渦になっていない
それが理由で 梅原先生は「銅鐸の研究」で環状文と言われたのだろう

個人的には これを勾玉文と呼ぼうと思いました
そして この勾玉文が装飾アクセサリのように見えてきて
兄弟ではなく姉妹と表記しました